

【座長：山口先生】

素晴らしい発表だと思いました。フロアから何かございますでしょうか。

【小田】

血液センターの小田といいます。在宅輸血ですが、血液センターは血液製剤を供給する施設を大体 3 年ベースで管理していますが、福岡県は約 650 施設ございます。

実際に 1 年間で輸血を実施している医療機関が 500 弱ですが、コロナも含めて急激に在宅での輸血が増えていっているように感じています。新規の医療機関、特に医院やクリニックからの相談があり、実際に私たちが訪問させていただき供給体制の状況を説明します。訪問させていただいた際に先生方にお聞きすると、目的が在宅輸血という移設が多く、現状で福岡県で把握している在宅輸血施設は、約 50 施設あるかと思っています。以上です。

【座長：山口先生】

情報をありがとうございました。これにつきまして何かございますでしょうか。

ありがとうございました。

【座長：山口先生】

続きまして、「福岡県合同輸血療法委員会学会認定看護師部会の報告」で、聖マリア病院病床管理室の梅木先生からご発表いただきます。よろしくお願いたします。

③ 「福岡県合同輸血療法委員会 学会認定看護師部会の活動」

**聖マリア病院 病床管理室
梅木 智美**



福岡県合同輸血療法委員会看護師部会を代表しまして、梅木から発表させていただきます。

本日の内容

1. 福岡県輸血療法委員会 看護師部会紹介
2. 県内中小規模医療施設の看護師研修会
3. 学会認定看護師 ブラッシュアップセミナー
4. アンケート結果
5. 今後の課題

本日の発表の内容になります。まず看護師部会の紹介を、ご存じない方もいらっしゃると思いますのでご紹介させていただいて、大きく 2 つの活動、中規模病院・医療施設での看護師研修会、それと学会認定看護師のブラッシュアップセミナー、この 2 つを紹介させていただいて、認定看護師のほうに取ったアンケートの結果をお知らせして、今後の課題としてお示したいと思ひます。

福岡県合同輸血療法委員会 看護師部会

2010年 学会認定・臨床輸血看護師制度開始
 ・活動方法を知りたい
 ・自らもブラッシュアップしたい

2015年 福岡県合同輸血療法委員会認定看護師連絡会設立
 (のちに看護師部会へ名称変更)

目的
 知識・技術の向上
 輸血教育・活動の情報交換
 看護師間のネットワークの構築
 中規模医療施設への看護師教育

福岡県合同輸血療法委員会看護師部会としては、学会認定の制度が 2010 年から始まりました。学会認定の臨床輸血看護師の取得はしたけど、具体的にどういふふう活動していいかということをお話と語り、活動につなげるといふことも兼ねて、2015 年から福岡県合同輸血療法委員会に看護師部会として設立させていただきました。目的としては、看護師の知識技術の向上、それと輸血教育・活動の行い方の情報交換、そしてネットワーク、中規模医療施設への看護師の教育をどのようにするかということを中心として設立しています。

福岡県合同輸血療法委員会

多職種タスクフォース

認定輸血検査技師 (血液センター所属者含む) 認定医師 学会認定看護師 (血液センター所属者含む)

輸血製剤使用 : 医療機関
 供給 : 血液センター

まずは輸血療法委員会のほうに、認定の検査技師、医師、学会認定看護師をタスクフォースとして今現在 10 名程度の方が一緒に活動を行っています。輸血製剤の使用医療機関、そして供給側の血液センターの方とともに動くことで一連の流れとして、輸血の実施にとどまらない、全体の教育が行われていると思っております。

看護師部会活動

北九州事業所
 福岡県赤十字血液センター

地区分けとつながり
 ・2地区分け
 ・世話人が連絡網の中心的役割

活動サポーター
 ・福岡県合同輸血療法委員会事務局
 ・所属施設への公文書での依頼
 ・研修会準備、当日の運営

活動の原動力
 ・多職種タスクフォース
 ・各職種の専門的役割の相互理解
 ・所属施設の支援

地図：福岡県ホームページより

看護師部会の活動は、大きく 3 つ特徴があります。県内で活動を推進するために代表世話人として 3 地区に分けていたんですけれども、現在は 2 地区、北九州と、福岡地区・筑後地区を 1 つとして、2 つの地区として世話人を選出して活動を行っております。

看護師部会活動

中小規模医療施設輸血実施体制への支援
 輸血研修会

学会認定看護師教育・活動支援
 ブラッシュアップセミナー

福岡県合同輸血療法委員会タスクフォースでの開催

活動の原動力としては、やはり先ほど紹介しました多職種のタスクフォースになります。看護師だけでは一方の考えにとどまってしまうし、先ほど検査技師さんからお話もありましたが、医師からの看護師に望むことということもございまして、多方面からの意見を聞きながら看護師の勉強を進めていっております。それと何はともあれ、私たちが所属する病院からも活動への支援をいただいているところであります。

そして活動のサポーターとして事務局を日赤のほうにいただいておりますので、各施設の看護師の派遣依頼とか公文書の発行であったり、研修会準備などの当日の運営をお願いしております。

福岡県輸血療法委員会 看護師部会 開催行事		
開催年度	中規模医療施設教育	ブラッシュアップ セミナー
2016年度	研修会	セミナー
2017年度	研修会	セミナー
2018年度	研修会	なし
2019年度	研修会	セミナー
2020年度	なし	なし
2021年度	なし	なし
2022年度	なし	なし
2023年度	なし	セミナー

看護師部会の活動の大きなものになります。中規模医療施設への輸血実施体制の支援として、研修会を開催しております。それと学会認定看護師への活動の支援としてブラッシュアップセミナー、この2つが大きな活動となります。

看護師部会のこれまでの実績になります。中規模医療施設の教育は2016年から看護師部会で行っているものですが、それまでは赤十字血液センターが行っているものを看護師のほうはこちらで行うようになりました。ブラッシュアップセミナーも2016年から開始したのですが、2020年の新型コロナウイルスの感染拡大でこちらも過去3年間も行われておりませんでした。今年度やっと念願がかないましてブラッシュアップセミナーを開催しました。この2つを詳しく説明差し上げたいと思います。

福岡県合同輸血療法委員会
看護師輸血研修会

対象者：県内中小規模医療施設の看護師
講師：タスクフォース（医師・臨床検査技師・看護師他）

知識	<ul style="list-style-type: none"> ・ 輸血に関する知識を得る
技術	<ul style="list-style-type: none"> ・ 輸血セット、自己血採血時の実際（実技研修）
情報交換	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設間、職種間の垣根を越えての意見交換等 ・ 不安の解消

自施設への安全へ繋げる

看護師研修会になります。県内の中小規模医療施設の看護師を対象として、講師にタスクフォースである医師や臨床検査技師、看護師などが立ち上がり、研修会を行ないました。小さい病院ではなかなか最新情報を得たり意見交換ができないところを中心になって、自部署の

問題につなげるということを目的として行っております。

2019年度福岡県合同輸血療法委員会
看護師輸血研修会

	福岡・筑後地区	北九州・筑豊地区
日付	2日間	2日間
時間	13:30~16:30	
場所	福岡県赤十字血液センター	北九州事業所
受講数	147名	111名
合計 258名		

内容

〔座学研修〕

- ・ 医療機関における輸血の実際 講師：臨床輸血看護師
- ・ 輸血血液製剤の供給体制、取り扱い、副作用 講師：福岡県赤十字血液センター

〔実技研修〕

- ・ 自己血採血時の穿刺部位の清拭と消毒 講師：臨床輸血看護師
- ・ 輸血セット操作時の注意点

コロナで中止になっておりました最新の研修会としては2019年になります。その時は福岡・筑後を1つの地区として、そして北九州・筑豊地区を1つの地区として、2つに分けてそれぞれ2日間、計4日間行った形になります。開催は医療機関に支障がないように土曜日の午後から、そして近くで行うことで参加しやすい環境にしました。

2019年度は合計で258名の方が参加になっております。これは実は開始から何年かうなぎ登りで参加の希望者がいらっやって、もっともっと受け入れを行いたいところですが、会場の大きさ等もありますので制限がかかる形にはなっておりますが、大きな病院では輸血教育が新人教育などでも行われている中でも、繰り返し行わなければいけない教育ができないという環境にあるのも1つの特徴ではないかと思っております。

2019年度福岡県合同輸血療法委員会
看護師輸血研修会



知識
技術



情報交換




研修内容としては、医療機関における輸血の実際を看護師のほうからご説明して、取り扱い、副作用、具体

的なところを日赤のセンターの方をお願いして、そして実技研修等につなげていっております。

実技研修では、モデルへの穿刺とか輸血バッグへの輸血セットの穿刺を実際に行ってもらいました。輸血を時々しか行わない施設の方も参加してらっしゃいまして、どのくらいの強さで輸血バッグに刺したらよいか分からないとの声も聞きました。実際に正確な手技を説明しながら、フィルターを満タンにする意味、そして輸血を開始して患者さんのそばにしっかりといなければいけない意味、その意味を伝える大切な教育になったと思います。

穿刺の順番の待ち時間には、ちょっと映っていますがドーナツの差し入れをして頂いたり等もありますので、それを食べながらでも他施設の交流やタスクフォースとしての医師・検査技師への質問の時間だったり、和やかな時間を過ごすことができます。

2019年度福岡県合同輸血療法委員会
看護師輸血研修会

参加者の声〔受講看護師〕

- 病院では勉強できない内容を学ぶことができた
- いろんな病院の話聞いて、現場の間違ったやり方を気付いた
- 輸血が行われる回数が少ないので、輸血バッグの取り扱いにも慣れていなかったが、実際に刺すことができ貴重な体験ができた
- 今年は自分が来たが、来年はほかのスタッフが参加すると思うので、毎年開催してほしい

2020年～新型コロナウイルス感染症発生により、開催されていない。次年度開催に向けて計画する。

研修会参加の方の声を挙げております。「病院では勉強できない内容を学ぶことができた」「輸血を行える回数が少ないので、輸血バッグの取り扱いに慣れていなかった」とか、「実際に刺すことができ貴重な体験ができた」という声が挙がりました。

実際に大きな病院で経験したことがあるという意見もありましたけれども、何年もたてば製剤の何か変わっているのか、自分の手技も自信がなくなっているところもありますので、こうした繰り返し行う体験が、安全な現場の輸血医療につながっているのではないかと考えております。2020年からはコロナの感染により開催されていないので、次年度開催に向けて計画を進めたいと考えております。

学会認定看護師ブラッシュアップセミナー

対象者：学会認定看護師
講師：タスクフォース（医師・臨床検査技師・看護師他）

知識・技術 維持・更新	<ul style="list-style-type: none"> ・福岡県内輸血療法現状報告 ・血液製剤使用指針変更 等
指導者育成	<ul style="list-style-type: none"> ・学会認定看護師としての活動報告 ・活用資料作成と配布
情報交換	<ul style="list-style-type: none"> ・施設間、職種間の垣根を越えての意見交換等

自施設への活動へ繋げる

そしてブラッシュアップセミナーです。対象者は学会認定の臨床輸血の看護師になります。講師は、医師、臨床検査技師の方をお願いをして、他施設の状況も交えながら情報交換を行って、そして何より学会認定看護師が指導者として現場で活動するための、重要な情報を持って帰っていただくというところの研修会となっています。

2023年度
学会認定看護師ブラッシュアップセミナー

日付	1月20日（土）
時間	13：30～17:00
場所	福岡県赤十字血液センター
受講数	32名
講師	<ul style="list-style-type: none"> ・県内認定看護師 ・タスクフォース

今年度行ったのは、つい先日の1月20日に行いました。こちら業務に支障がないように土曜の午後、福岡県赤十字血液センターの研修室をお借りして行いました。参加は32名だったんですけども、この32名は昨年度の合同輸血療法委員会のアンケートを取らせていただいて、認定看護師がいるとお答えされた施設に案内状を発送して、情報をかけています。

2023年度
学会認定看護師
ブラッシュアップセミナー



内容	講師
(1)輸血療法に関して、 医師、臨床検査技師が看護師に望むこと	認定医 認定輸血検査技師
(2)血液センターからのお知らせ	福岡県赤十字血液センター
(3)活動報告 新人教育、院内ラウンド、I&Aについて	臨床輸血看護師
(4)グループ討議	ファシリテーター：認定医

セミナーの内容は、これまでは輸血看護師のスキルアップを目的とした内容でしたが、「輸血療法に関して医師、臨床検査技師が看護師に望むこと」という内容で、認定医、認定看護師、認定検査技師の方から講義をしていただきました。輸血の一連の流れの中で看護師が担う役割に対して、他の職種から要望を聞く機会は所属している病院でもありませんので、そちらからも貴重な意見、考えを聞く機会になりました。そして今回、グループ討議を行いました。その他活動の報告なども含めて、こちらの内容を紹介したいと思います。

2023年度
学会認定看護師ブラッシュアップセミナー

(3) 学会認定輸血看護師としての活動報告

- ① 聖マリア病院輸血療法委員会看護師部会 活動報告
 - ・新人看護師教育
 - ・輸血実践リーダー看護師育成教育
 - ・院内ラウンド
- ② I&Aについて
 - ・I&A（輸血機能評価認定）とは
 - ・福岡県内のI&Aに関する情報



2023年度
学会認定看護師
ブラッシュアップセミナー

(4) グループ討議 内容（一部）

- 各施設での困りごと
 - ・輸血療法に関する知識がないため、インシデントが多い（血液型採血とクロスマッチ採血の同時採血など）
 - ・中堅看護師への輸血教育がされていないため、部署独自のルールになっている。
 - ・新人教育以外での活躍の場がない
- 学会認定看護師の育成
 - ・資格を取るメリットがないと、若い看護師を引き入れるのは難しい。
 - ・診療報酬に直結するものがあれば、看護部、病院は動く
 - ・活動時間が確保される場が必要

ブラッシュアップセミナーの内容として、教育の内容を各施設に活動内容を持って帰って次の活動につなげていただくということがありましたので、僭越ではありますが当院の私たちの看護師部会の活動内容をお伝えさせていただきました。新人教育はどの施設も行っていたんですけど、今はデジタル世代の新人たちが入ってきて、今まで私たちも紙でアンケートを取っていたのが、Google フォームでさらさら指で書いて感想を書くというアンケートの内容で、テストに答えてその場で結果が出るという世代に対してどういふに教育を行っているという、刷新した内容をお伝えしております。実際にその場面も提示してお答えできるように、そのデータをそのまま使えるように教育例をお示しました。それと今年度から、輸血実践リーダー看護師の育成を始めました。看護師を集めて教育を行って、各現場で教育をその子たちに行ってもらおうという、私たち認定看護師が回れない機会を現場にいる看護師が育ててもらおうという内容を作りましたというもご案内させていただきました。それと I&A については、実際に視察員として活躍する認定看護師さんからも、どういふに行かれたとか、他の施設に入るのにどきどきしたみたいなコメントも頂きながら、現在、福岡県の I&A の視察員のライセンスを持っている看護師が 6 名おりますが、まだまだここも募集して登録人数が多くなれば、さらなる活動の拡大にもつながることじゃないかなと思っています。それも紹介をさせていただきました。

セミナー後アンケート（一部抜粋）

- 今後の活動について参考になる話を聞いて良かった
- どの施設でも抱えている問題は同じだなと感じた
- 今後、教育に関わる予定なので本日の内容を活用したい
- 下がっていたモチベーションが上がりました

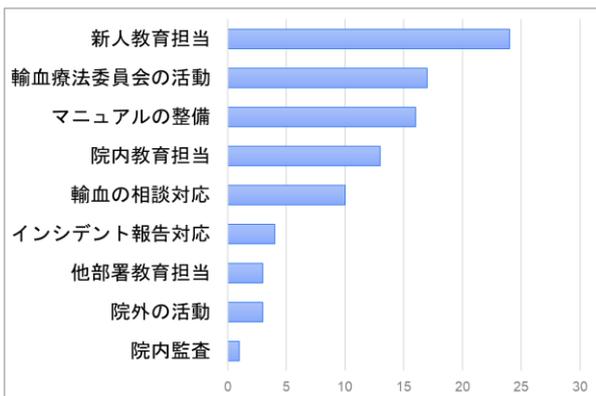
【今後の要望】

- 医師や中堅層へのアプローチの方法を知りたい
- グループ内での自由な質問時間が欲しい
- インシデントに関しての対策を知りたい



そして時間が欲しかったと後からアンケートであったのが、セミナーの内容の後のアンケートの一部になります。「他の病院の内容を聞いて良かった」という内容が一番多かったんですけど、「下がっていたモチベーションが上がりました」という意見もありました。教育に関わる内容だと、これからの自分の活動を見据えて参加できてあったのではないかと思います。今後の要望としては、「中堅層へのアプローチの方法を知りたい」とか、「グループ内での自由な質問の時間がもっと欲しかった」ということまでコメントとして挙がりました。少し甘いものを頂きながら、皆さまと共有するような時間を過ごしました。

活動内容（複数回答可） n = 40名

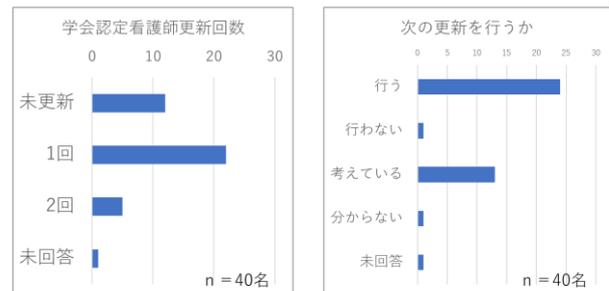


活動内容について、その後参加した看護師とでラインでつながっている看護師のほうに、複数回答可ということで、今現在の活動の内容をお聞きしております。新人教育の活動はかなり多くの方が参加してあったんですけど、マニュアルの整備、院内のマニュアルの整備で安全な医

療を現場でしっかりと根付かせるように、そういった活動をしていただいたり、他の病棟や部署への教育活動だったり等をしている方もいらっしゃいました。

これは数年前に同じようなアンケートを取ったんですけど、内容はあまり変化はありませんでした。

学会認定看護師 更新について



- 〔行う〕
- ・認定看護師として、所属部署での活動の必要性を感じているため
 - ・院内での教育体制がまだ十分に整っていないため
- 〔考え中〕
- ・診療報酬に関与しないため、インセンティブがないため
 - ・時間外の仕事が増える
- 〔行わない〕
- ・自己血輸血に関わる部署にいない

学会認定看護師の更新についても、一緒にアンケートで取らせていただいています。1回は更新されていた方が多かったんですけど、「次の更新を行うか」という質問に対して、「行う」と答えた方は、「まだまだ自分の役割や教育体制が整っていない」と言われる方と、「考え中」の回答の中に「診療報酬に関与しない」「インセンティブがない」とか「時間外の仕事が増える」といったことがあります。施設によっては活動時間が制限されて、まずは現場の業務優先というふうになっているところがあると考えられますので、現場のそういった対策を行っていくことを望むところではありません。

それと「行わない」と回答してらっしゃる方もいらっしゃって、「自己血輸血に関わる部署にいない」とお答えされた方もいらっしゃいました。限られた部署で行われている輸血療法ではありますが、院内に広がる活動をされているところでは大変残念で、もっともっと部署を越えて活動の拡大を行ってくれば、ここは少し変わるかなと思っています。更新については学会のカリキュラム委員のほうでも、ここは少し問題視しているところでもありますので、この回答も少しご紹介させていただこうと思いました。

私たちのネットワーク（情報交換）

LINEグループ 40名



- 質問・疑問、交流の場としての活用
- セミナー開催の案内
- 写真共有
- アンケート収集 等

私たちのネットワーク、これはちょっと自慢にもなるんですけれども、LINE グループで現在 40 名つながっております。疑問の交流の場として、1 人がこれはどうしてますかという質問を投げかけると、私のところはこうしてますよという交流が始まります。私は分からないことはすぐに医師に確認しますので、医師からこういうふうの確認したらいいと言われたというのをお返ししたりしています。ここで交流の場、誰かに相談できる場があるというのが大変心強いところになっていると思います。

今後の課題

福岡県全体のネットワークの構築

学会認定看護師間

福岡県中小医療施設看護師間

他の職種間

学会認定看護師の支援と人材育成

企画・実践でのリーダーシップの発揮

活動拡大のための情報提供

学会認定看護師の更新・後継者へ繋がる

感染防止に対する研修会の在り方

会場、人数の設定

今後の課題は、ネットワークの構築をさらに行いたいと思います。学会認定の看護師の中でブラッシュアップセミナーで行っている中を超えて、中小規模医療施設の看護師間のネットワークもさらに拡大していきたいと思っています。

そして今回は落ち着いてブラッシュアップセミナーが行われたんですけれども、感染防止に対する研修会のあり方のほうも考えていかなければいけないと思っています。

ご清聴ありがとうございました



2024年1月20日ブラッシュアップセミナー

最後は早口になりましたが、ご清聴ありがとうございました。

【座長：山口先生】

ありがとうございます。フロアのほうから何かご質問ありますでしょうか。

認定看護師新規取得については、大体何年目ぐらいの看護師さんが多いんでしょうか。

【演者：梅木先生】

ご質問ありがとうございます。3 年でやっと現場の業務が分かるといった感じで、10 年目以降の方が、次なる自分のステップアップの材料としてこの試験を受けているという印象ではあります。カリキュラム委員として試験会場に行きますけど、ベテラン層から若い方、30 代前後の方が多くいる感じです。

【座長：山口先生】

かなり経験を積まれたベテランの方にも、新たなニーズがあるということですね。

【演者：梅木先生】

指導の方が受けて頂きたいとは思いますが、どうしても輸血を見なければそのライセンスに目がいかないというか、今後は県の中でも公表していく必要があると思います。

【座長：山口先生】

ありがとうございます。それではよろしいでしょうか。ありがとうございます。